

## 本号のテーマ：「コロナ禍での明るいニュース」

昨年末から新型コロナウイルス罹患者が急増した東京をはじめ、関東地区1都3県に1月9日、緊急事態宣言が発出され、その後、関西圏など全国11都府県に拡大しました。

また、佐久市に於いても1月11日に長野県独自の感染警戒レベルが5に引き上げられ、柳田市長から市民の皆様へ感染予防などに関するメッセージが出されました。

その後、警戒レベルは4、3と引き下げられていますが、佐久市教育委員会はこの一連の状況に先駆け1月7日に臨時校長会を行い、万一の場合に備え、新型コロナウイルス対策の再確認と情報交換を行いました。

今、長野県や日本だけの問題ではなく世界中がコロナ禍の暗いニュースばかりで正直うんざりですが、本号はコロナ禍での明るいニュースをお届けしたいと思います。

前回担当した「教育委員会だより」では佐久市立岩村田小学校の竣工式を取り上げましたが、本号でも明るいニュースをお伝えできる事は嬉しく思います。



内津観空氏（田口在住）  
による揮毫



1月8日に行われた教育委員会による校名案発表記者会の様子

さて、ご承知のとおり、現在臼田地区にある4つの小学校が統合し、新しい小学校として令和5年4月の開校を目指し敷地造成工事が進められています。この臼田地区新小学校の校名案が決定し、1月8日、榑澤晴樹教育長と4名の教育委員が出席し記者会見を行い、校名案を発表しました。

新小学校の校名案は「佐久市立臼田小学校」です。決定に至る経緯としては、昨年9月に公募を行い、市内外からご応募いただいた221件（103通り）の校名案をもとに、地域、PTA、小中学校、保育園、幼稚園の各代表者との意見交換会を実施し、ご意見を伺いました。

そして、平成24年度、佐久平浅間小学校の校名案選定に際して教育委員会が定めた選定基準を踏まえ、10月から12月まで全5回の教育委員会協議会で議論を重ね、12月24日に開催された令和2年佐久市教育委員会第12回定例会で校名案が決定された次第です。

この様にして多くの皆様から寄せられた校名案の中から決定された「佐久市立臼田小学校」が2年後、臼田地区の歴史や伝統を大事にしながら新たな歩み始める新小学校の校名として、末永く受け継がれていく事を切に願うものです。

